

令和 6 年度  
土地改良事業計画書  
( 農業用ため池整備事業 )

都道府県名	福 岡 県
地区名	岩 本 の 1 地 区
所在名	築 上 郡 築 上 町
事業主体	福 岡 県

# 目 次

第1章 目 的	1
第2章 地域及び地積	1
第1節 地 域	1
第2節 地 積	1
第3章 現 況	2
第1節 気象及び海象	2
1. 一般気象	2
2. 特殊気象	2
3. 海 象	3
第2節 土 地 状 況	3
1. 地形、土壌及び浸食の程度	3
2. 土地分類	5
3. 土地利用の状況	6
4. 土地所有の状況	6
第3節 水 利 状 況	7
1. 用水状況	7
2. 排水状況	10
3. 河川状況	12
第4節 道 路 現 況	13
1. 道路概況	13
2. 主要道路一覧表	13
第5節 地域農業の概況	13
1. 産業別就業人口	13
2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	14

3. 動力農機具及び主要家畜頭数	14
4. 主要作物作付状況	15
5. 農業の動向	16
第6節 地域環境の概況	17
第4章 一 般 計 画	18
第1節 事業計画の要旨	18
1. 要 旨	18
2. 事業別面積	19
第2節 営農計画及び土地利用計画	20
1. 営農計画の概要	20
2. 土地利用区分	20
3. 作付方式	21
4. 生産計画	21
5. 労働改善計画	22
6. 級地別土地利用区分	22
7. 土地配分計画	23
第3節 用 水 計 画	23
1. 計画基準年	23
2. 計画かんがい方式	23
3. 計画用水系統	23
4. 計画用水量	24
5. 水源計画	25

第4節 排水計画	28
1. 計画基準雨量	28
2. 計画排水方式	28
3. 計画排水系統	28
4. 計画排水量	28
5. 排水対策	29
6. 湛水検討	30
第5節 道路計画	31
1. 道路及び索道	31
2. 路線配置図	31
第6節 農用地造成計画	32
1. 農用地造成計画	32
2. 土壌改良	32
第7節 洪水調節計画	33
1. 計画基準雨量	33
2. 計画洪水量及び調節量	33
3. 貯水池	33
4. 洪水調節検討	34
5. 管理計画	34
第8節 干拓計画	35
第9節 農用地整備計画	35
1. 区画整理	35
2. 暗渠排水	36
3. 客土	37
4. 農地保全	38
第10節 老朽ため池改修計画	39
1. 洪水吐改修計画	39
2. 堤体補強計画	39
3. 取水施設改修計画	39

第5章 主要工事計画	40
第1節 用水施設	40
1. 貯水池	40
2. 頭首工	40
3. 揚水機	41
4. 用水路	41
5. その他かんがい施設	41
第2節 排水施設	42
1. 排水水門	42
2. 排水機	42
3. 排水路	43
4. その他排水施設	43
第3節 道路及び索道	43
1. 道路	43
2. 索道	44
第4節 農用地造成	45
1. 農用地造成	45
2. 土壌改良	47
第5節 洪水調節施設	48
1. 貯水池	48
2. 頭首工及び導水施設	48
第6節 干拓施設	49
1. 堤防	49
2. 潮止め	49
3. 附属施設	49
4. 埋立	49

第7節 農用地整備施設	5 0	第4節 土地の評価及び清算の方法	6 0
1. 区画整理	5 0	1. 評価の方法	6 0
2. 暗渠排水	5 1	2. 精算の方法	6 0
3. 客土	5 2	第5節 換地計画樹立の年度計画	6 0
4. 除礫	5 2	第6節 換地処分の時期に関する特則	6 0
5. 農地保全	5 3		
第8節 老朽ため池改修施設	5 4	第10章 事業費の総額及び内訳	6 1
1. 貯水池	5 4	第11章 効用	6 2
2. 堤体補強施設	5 4	第12章 関連する事業	6 4
第6章 付帯工事計画	5 5	第13章 関係図面	6 4
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	5 5	1. 位置図	6 5
第8章 環境との調和への配慮	5 6	2. 計画概要図	6 6
第9章 換地計画の概要	5 7		
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	5 7		
第2節 換地区の設定	5 7		
1. 換地区の名称, 所在, 面積	5 7		
2. 換地区を設定する理由	5 7		
第3節 換地計画樹立の基本方針	5 7		
1. 従前の土地の面積の基準	5 7		
2. 用途別予定地積	5 8		
3. 農用地集団化の方針	5 9		
4. 非農用地の換地方法	5 9		

## 第 1 章 目 的

### (1) 必 要 性

岩本の1池は、貯水量30,000m<sup>3</sup>、堤高4.9m、堤長122.2mの均一型タイプのため池である。築造年は不明であるが100年以上経過しており、古くからかんがい用ため池として利用されてきた。現況堤体は、脆弱化が進んでいて下流で漏水が確認でき、余裕高も不足している。取水施設は木栓取水であり、操作に支障をきたしている。洪水吐も設計洪水量を流下させるには断面が不足している。

このため、堤体が決壊する事態になれば、ため池下流の農地、農業用施設のみならず人家も巻き込んだ被害が予測される。そこで、本事業により早期に改修を行い、ため池の機能回復と農業経営の安定化を図る必要がある。

### (2) 緊 急 性

岩本の1池は、堤体から要改修判定指標である許容漏水量（堤体100m当たり60l/min）を超える漏水があり、洪水吐は設計洪水量に対して安全に流下させるために必要な断面が不足している。さらに、地震発生直後等の堤体の保全に必要とされる緊急放機能がない。以上のことから、地震、洪水時には破堤の恐れがあり、堤体が決壊する事態になれば、ため池下流の農地、農業用施設は勿論、住宅及び公共施設等に多大な被害を及ぼすことになる。このため、早急に整備する必要がある。

## 第 2 章 地域及び地積

### 第 1 節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
農業用ため池整備事業	岩本の1池受益地：福岡県築上郡築上町大字椎田地内

### 第 2 節 地 積

(第2表)

事 業 名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	原 野 (ha)	山 林 (ha)	そ の 他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名							
農業用ため池 整備事業	築 上 町	14.5	—	—	—	—	14.5	
	計	14.5	—	—	—	—	14.5	
	計							
合	計	14.5	—	—	—	—	14.5	

### 第 3 章 現 況

#### 第 1 節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名 観測期間	下関地方気象台 1946年～2023年	かんがい期 4月～10月	非かんがい期 11月～3月	計または平均	備 考
平 均	気 温 (°C)	21.4	9.0	16.3	気象庁ホームページより
降 雨 量	平 均 (mm)	1,299.5	414.7	1,714.2	〃
	基 準 年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平 均 (日)	66	46	112	≥1.0mm/日
	基 準 年 (日)	—	—	—	
根 雪 期 間	—				
無 霧 期 間	—				
最 多 風 向	東南東	最大風速	30.7 m/s (東南東)		発生時期 月～月 発生年月日 昭和45年8月15日

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 下関気象台 観測期間 1946年～2023年	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	265.7	1953/6/28	1/500	218.6	1954/9/25	1/70	205.1	1949/8/17	1/40	186.5	2021/8/14	1/36	184.0	2018/7/6	1/25	
最大時間雨量 (mm)	77.4	1953/6/28	1/90	71.0	2004/9/16	1/50	71.0	2012/7/14	1/50	65.5	2015/8/25	1/20	64.0	2019/7/18	1/15	
最大4時間雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続雨量 (mm)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
最大連続干天日数 (日)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名		既往最高 潮 位 (m)	さく望平均 満 潮 位 (m)	上下弦平均 満 潮 位 (m)	平均潮位 (m)	上下弦平均 干 潮 位 (m)	さく望平均 干 潮 位 (m)	既往最低 潮 位 (m)	備 考
観測期間	年～ 年								
実 測 値		( )							

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田 (ha)						畑・その他 (ha)								受益地標高(m)		備 考	
		傾 斜 区 分	1/1000 以下	1/1000 ～1/100	1/100 ～1/20	1/20 ～1/11.5	1/11.5 以上	計	3℃ 以下	3℃ ～	0℃～15℃			15℃ ～20℃	20℃ 以上	計	最 高		最 低
											0℃ ～ 10℃	10℃ ～ 15℃	15℃ ～						
農業用 ため池 整備事 業	面 積 (ha)	—	—	14.5	—	—	14.5	—	—	—	—	—	—	—	—	17.8	5.5		
	百分率 (%)	—	—	100	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—	—				
	面 積 (ha)																		
	百分率 (%)																		
合 計	面 積 (ha)	—	—	14.5	—	—	14.5	—	—	—	—	—	—	—	—	17.8	5.5		
	百分率 (%)	—	—	100	—	—	100	—	—	—	—	—	—	—	—				

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表								面積(ha)			備考	
	土壤断面							堆積様式	母材	事業名			
	色	腐食	礫層	酸化沈殿物	土性					泥炭層 黒泥層 及び グライ層	農業用 ため池 整備事 業		計
					表土	下表土							
一層	二層	三層											
灰褐色土壤群	褐色	—	—	—	Sic	Sic	Lic	—	沖積層	凝灰角礫岩	14.5	14.5	
計											14.5	14.5	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土壤の流亡率				年平均流亡速度				カーリー浸食の程度		備考
		0	0~25%	25~50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
農地保全	面積(ha)											
	比率(%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	農 用 地 造 成											計 (ha)	備 考
	一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
		*	0° ~3°	3° ~12°	12° ~15°	*	15° ~20°	20° ~25°	25° ~30°	*	30°以上		
	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
計													

\*は傾斜以外の要因によるもの

(第4表-2-2)

市町村名	一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	備 考
計						

3. 土地利用の状況

(第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕 地							山 林		採 草 放牧地	原 野	その他	計	備 考
		水 田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	桑 園 (ha)	茶 園 (ha)	その 他の 樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
農業 用ため池 整備事業	築上町	14.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14.5	
	計	14.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14.5	
	計														
合 計		14.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14.5	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別 区 分	個 人 有	部 落 有	市 町 村 有	国 有	計	備 考
		面 積 (ha)	14.5	—	—	—	
農業 用ため池 整備事業	関係戸数 (戸)	33	—	—	—	33	
	筆 数 (筆)	135	—	—	—	135	
	権 利 関 係	—	—	—	—	—	
	備 考 (受益者数)	33	—	—	—	33	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統 岩本の1池 → 受益地 A=14.5 ha  
(別紙現況用系統図参照)

(2) 用水施設 ため池

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

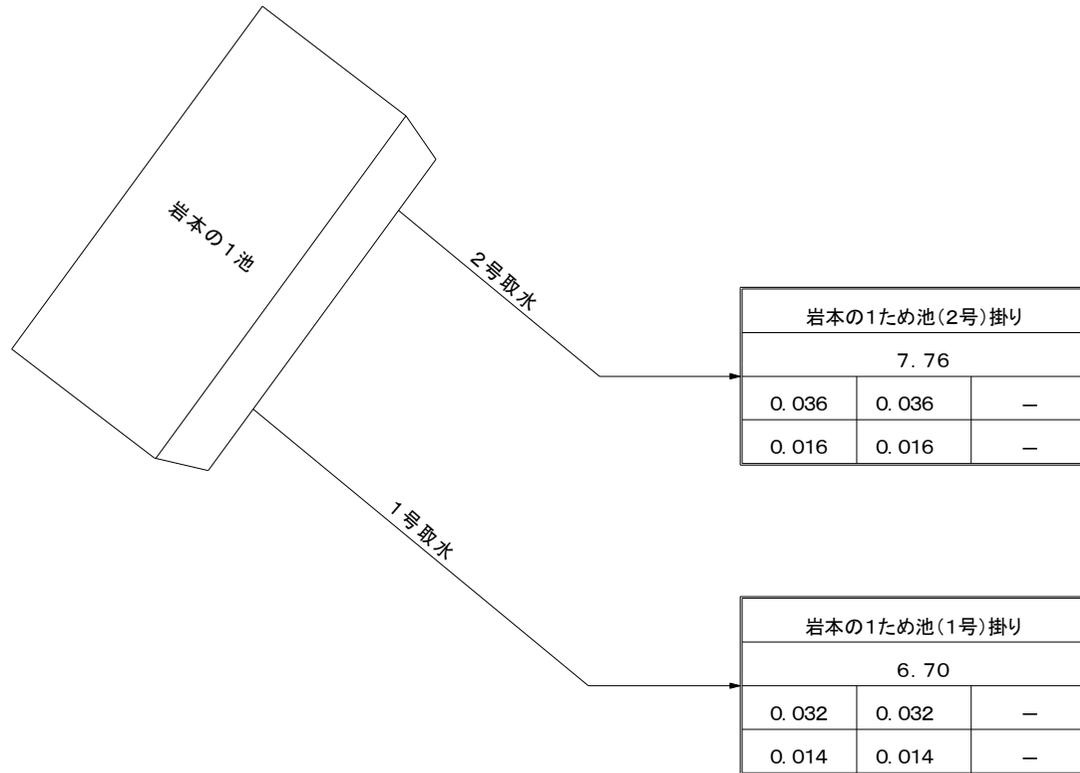
事業名	項目 施設名	かんがい面積								水利権		慣行水利権		延取水量		備考
		100ha以上		100ha~50ha		50ha未満		計		箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	箇所	m <sup>3</sup> /s	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha							
農業用ため池整備	貯水池					1	14.5	1	14.5			1	0.068			1号0.032、2号0.036
	井堰															
	自然取入口															
	揚水機															
	その他															
合計						1	14.5	1	14.5			1	0.068			

(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名 又は箇所数 (箇所)	受益面積 (ha)	構造	規模 (貯水量)	新設年 又は更新年	改修を必要とする理由	備考
井堰								
自然取入口								
揚水機								
その他								
合計			14.5					

現況用水系統図



凡 例	
記 号	名 称
	既 設 水 路
	頭 首 工
	貯 水 池
	地 区 外
	地 区 内
(イ)	路 線 名
(ロ)	灌 漑 面 積
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量
(ト)	不 足 水 量

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい面積 (ha)	現況 必要水量 (千m <sup>3</sup> )	不足水量				平均減産量		平均 維持管理費 (千円)	備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)		
	平均 (m <sup>3</sup> /s)			基準年 (m <sup>3</sup> /s)	平均 (千m <sup>3</sup> )	基準年 (千m <sup>3</sup> )					
	計										
	計										
	合計										

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい面積 (ha)	水温(°C)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			

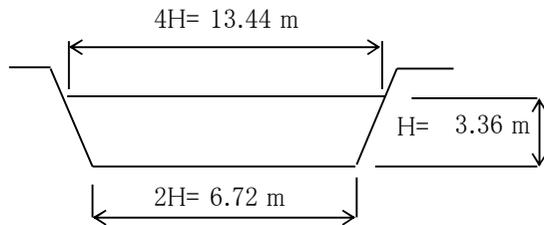
(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (千円)						人命 (人)	備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用 施設	公共 施設	家屋 その他	計		
農業用ため池整備 事業	21.3	-	7.0	28.3	11,611	107,908	106,646	5,405	577,522	809,092	136	
計												
合計	21.3	-	7.0	28.3	11,611	107,908	106,646	5,405	577,522	809,092	136	

(5) 原因究明

ため池の決壊は、老朽化に伴う堤体の脆弱化と漏水、洪水吐の通水断面不足等が原因になると考えられる。本ため池が決壊すれば、池内の水が堤体等の土砂を巻き込んで下流に氾濫し、下流農地、農業用施設、人家などに多大な被害を与えることが予想されることから、被害を未然に防止するために改修工事が望まれる。



流出洪水量

$$\begin{aligned}
 Q1 &= 4.5 \times H^{5/2} \\
 &= 4.5 \times 3.36^{5/2} \\
 &= 93.12 \text{ m}^3/\text{s}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 Q2 &= \text{設計洪水量} \\
 &= 4.60 \text{ m}^3/\text{s}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 Q &= Q1 + Q2 \\
 &= 93.12 + 4.60 \\
 &= 97.7 \text{ m}^3/\text{s}
 \end{aligned}$$

総土石流出量

$$\begin{aligned}
 V1 &= \text{決壊堤体積} \\
 &= 875 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 V2 &= \text{耕土流出量} \\
 &= 17,000 \times 0.3 \\
 &= 5,100 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 V &= V1 + V2 \\
 &= 875 + 5,100 \\
 &= 5,975 \text{ m}^3
 \end{aligned}$$

耕土流出面積 17,000 m<sup>2</sup>

平均流出深 0.3 m

2. 排水状況

(1) 排水系統

該当なし

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目		排水面積						計		排水慣行	現況排水能力 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			ha以上		～ ha		ha以下						
	施設名	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha				
自然	排水路												
	水門												
機械	排水機												
	水門及び排水機												
	排水路及び排水機												
	計												
	合計												

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は箇所数	構造	規模	新設年 又は更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名							
	自然	排水路						
		水門						
	機械	排水機						
		水門及び排水機						
		排水路及び排水機						
	計							
合計								

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	た ん 水 状 況				乾 湿 状 況 (ha)						平均減産量 (t)		平均 維持管理費 (千円)	備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m <sup>3</sup> )	田		畑		その他		作物名	減産量		
								乾	湿	乾	湿	乾	湿				
			平均														
			基準年														
	計		平均														
			基準年														
合計			平均														
			基準年														

3. 河川状況

(1) 河川の現況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	安全排水量 ( $m^3/s$ )	既往最大排水量 ( $m^3/s$ )	備考

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (千円)	農用施設 (千円)	作物 (千円)	公共施設 (千円)	備考
過去の最大被害額					
平均被害額					

第 4 節 道路現況

1. 道路概況

該 当 な し

2. 主要道路一覧表

(第6表)

No,	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の適否	備 考
				全 幅	有 効			

第 5 節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口 (令和2年国勢調査)

(第7表-1)

市町村名	項 目	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	業熱電気 供給水道 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 売 小 売 業 (人)	金 融 保 險 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
計	8,242	629	18	20	3	609	1,475	33	420	940	75	44	2,282	1,195	499		
(比率)	100.0%	7.63%	0.22%	0.24%	0.04%	7.39%	17.90%	0.40%	5.10%	11.40%	0.91%	0.53%	27.69%	14.50%	6.05%		

※ 市町村別産業大分類別15歳以上就業者

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専業別農家数

(2020年農林業センサス)

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家戸数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)						耕地の分散状況		主副業別農家数 (戸)			備考
		を例外規定の適用 を受けるもの適用	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	一戸当たり 団地数	団地当たり 面積 (ha)	主業	準主業	副業	
			0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 以上													
築上町	669	2	122	241	112	52	42	44	32	12	10	262	2.06	0.27	0.56	2.09	0.00	2.09	—	—	60	73	506	
計	669	2	122	241	112	52	42	44	32	12	10	262	2.06	0.27	0.56	2.09	0.00	2.09			60	73	506	
比率(%)	100.0	0.3	18.2	36.0	16.7	7.8	6.3	6.6	4.8	1.8	1.5	39.2	—	—	—	—	—	—	—	—	9.4	11.4	79.2	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(2020年農林業センサス)

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具						主要家畜						備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン		乳用牛		肉用牛		採卵鶏		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (羽)	戸数 (戸)	
築上町							x	1	x	1	x	2	
計							x	1	x	1	x	2	
100戸当たり 数量 (台,頭)							—		—		—		※農業機械の所有台数について、2020年センサスより調査項目から削除された。
利用戸数 割合 (%)							—		—		—		

4. 主要作物作付状況

(第70次農林水産統計年報(令和4年～5年))

(第7表-4)

市町村名			築上町						計	平均	作付率 (%)	備考
総耕地面積 (ha)			1,880						1,880			
総本地面積 (ha)			1,660						1,660			
区分			作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)	作付面積 (ha)	単位面積 当たり収量 (kg/10a)		
作物名												
田	表作	水稻	1,040	467					1,040	467	62.6%	第70次農林水産統計年報
		大豆	139	63					139	63	8.4%	
	裏作	小麦	165	504					165	504	9.9%	
		二条大麦	308	447					308	447	18.6%	
	小計			1,652					1,652		99.5%	
畑	レタス		20	857					20	857	1.2%	R4年産福岡県農業統計調査
	ブロッコリー		10	347					10	347	0.6%	
	スイートコーン		9	614					9	614	0.5%	
	小計			39					39		2.3%	
樹園地									0	0	0.0%	
	小計								0		0.0%	
その他												
計			1,691						1,691		101.9%	
市町村別延べ作付率(%)			101.9%						101.9%			

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家		土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			その他	地 域 指定等	備 考
		B	A		B	A	作 物 名	B	A	家 畜 名	B	A	農 機 具 名	B			
変化の状況 (C年を100とする指数)	総農家数	80	60	総面積	92	87	水 稻	98	94	乳用牛	100	100	動力田植機	76	-		A：令和2年 (2020年)  B：平成27年 (2015年)  C：平成22年 (2010年)
	主業農家数	72	52	田	93	88	麦 類	117	130	肉用牛	200	100	トラクター	77	-		
	準主業農家数	68	35	畑	130	103	豆 類	-	80	採卵鶏	50	50	コンバイン	76	-		
	副業的農家数	84	68	樹園地	67	50											
農業従事者数	101	92	草 地	300	0												
変化の理由	少子高齢化、生産組織等への農地集積により、農家数、農業従事者とも減少傾向にある。			田は減少傾向にあり、宅地等への転用が考えられる。			水稻の生産調整の裏作として麦類が増加している。			飼育頭数は不明であるが、経営体数からみると乳用牛、採卵鶏に大きな変化はみられない。			2020年センサスより、農業機械の保有台数に関する調査項目が削減された。				

## 第6節 地域環境の概要

築上町（旧椎田町）は周防灘に面した扇状の地形であり、二級河川城井川に合流する岩丸川、極楽寺川、真如寺川、及び上ノ河内川が南北に細長い谷間を形成し、それぞれの河川に沿って農地が帯状に分布し、その下流域には肥沃な平野が開けている。

本町の農業生産は、稲作が中心で、その他麦、大豆、野菜が栽培されており、要ほ場整備面積の95%以上が基盤整備済みとなっているが、農業就業者の高齢化、離農が進み、後継者不足が深刻な問題となっている。また、生活雑排水の水路、河川、ため池等への流入が自然環境や生活環境に被害を与えるだけでなく、農業、漁業にも悪影響を及ぼしている。

こうした中、本町では農村環境像を「ひとと自然が共生した住み心地のよい空間」と定め、恵まれた自然環境のなかで、地域資源を保全し、持続的発展可能なリサイクル型社会の形成を目指すため、次のように基本方針を設定している。

### ①自然環境の保全

本町の貴重な財産である自然環境や恵まれた水環境を将来にわたって保全するため、住民の意識啓発を図り、住民が主体となった自然環境保全活動の意識を高揚する。

### ②リサイクル型社会の構築

住民に対するゴミの減量化、ゴミの分別回収についての意識啓発を図り、可燃物のごみ固形化燃料化施設を中心とするリサイクル型社会の実現に向けた取り組みを強化するとともに、有機液状堆肥の生産能力の拡大を図る。さらに、下排水処理体制の整備を推進し、河川および海洋の汚染防止に努める。

### ③有機農業の促進

地球環境に対する負荷が小さく、食物の安全性を求める消費者ニーズにも対応している農産物の有機栽培を、今後の本町農業のひとつの方向性としてその可能性を探っていく。そのため、有機液状堆肥を活用した農産物の有機栽培を促進し、自然にやさしい高付加価値農産物の育成に努める。

本町の農業振興地域内は原則として環境配慮区域とし、農村環境像を実現するために環境創造区域を設定しているが、ため池は貴重な植物群落の分布地として、その保全は重要であり、ため池を保全する事業については、景観や安全性、親水性等に配慮するとしている。

## 【文献調査】 参考文献：椎田町田園環境整備マスタープラン（平成15年6月）

植物群落	ツルヨシ群集、クロマツ植生、アカマツ群落
植物	シイ、カシ、スギ、ヒノキ、アカマツ、クロマツ、イヌセンブリ、シソクサ
昆虫類	オオアメンボ、タガメ、アカシジミ、ミカドアゲハ
両性・爬虫類	ブチサンショウウオ、オオサンショウウオ
哺乳類	ニホンザル、イノシシ、キツネ、タヌキ

## 第 4 章 一 般 計 画

### 第 1 節 事業計画の要旨

#### 1. 要 旨

項 目	事 業 を 必 要 と す る 理 由	改 修 ・ 補 強 工 法	備 考
堤 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤体のり尻からの漏水が見受けられる。 漏水量 <math>81.10 \text{ ㉞}/\text{min}/100\text{m} &gt; 60 \text{ ㉞}/\text{min}/100\text{m}</math></li> <li>・堤体の余裕高が不足している。 現況余裕高 <math>0.63 \text{ m} &lt; \text{必要余裕高 } 1.21 \text{ m}</math></li> <li>・地震時における堤体の安定性が不足している。 常時満水位における下流側安全率 <math>1.036 &lt; 1.20</math></li> </ul> 以上より、早急に改修する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤体改修工 前刃金土工法 <math>L= 125.7 \text{ m}</math> 波受工 <math>A= 753 \text{ m}^2</math></li> <li>・法面勾配 上流側 <math>1 : 1.5 \rightarrow 1 : 1.8</math> 下流側 <math>1 : 1.6 \rightarrow 1 : 1.8</math></li> </ul>	
取水施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1号取水のため池栓は木栓であり、操作に支障を来している。</li> <li>・地震発生直後等の堤体保全のために必要な緊急放流機能を備えていない。</li> <li>・底樋の断面は1号取水 <math>\phi 600</math>、2号取水 <math>\phi 300</math>であり管理断面不足である。</li> </ul> 以上より、早急に改修する必要がある。	1号取水 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取水孔 <math>\phi 200\text{mm} \times 2\text{孔}</math> (取水ゲート)</li> <li>・斜樋管 塩ビ管 <math>\phi 300 \text{ mm}</math> <math>L= 2.3 \text{ m}</math></li> <li>・底樋工 ヒューム管 <math>\phi 800 \text{ mm}</math> <math>L= 18.1 \text{ m}</math></li> </ul> 2号取水 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取水孔 <math>\phi 200\text{mm} \times 3\text{孔}</math> (取水ゲート)</li> <li>・斜樋管 塩ビ管 <math>\phi 300 \text{ mm}</math> <math>L= 3.2 \text{ m}</math></li> <li>・底樋工 ヒューム管 <math>\phi 800 \text{ mm}</math> <math>L= 19.2 \text{ m}</math></li> </ul>	
洪水吐	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水吐の通水断面不足 排水可能流量 <math>2.62 \text{ m}^3/\text{s} &lt; \text{設計洪水量 } 4.62 \text{ m}^3/\text{s}</math></li> </ul> 以上より、早急に改修する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・側水路型 <math>B= 6.0 \text{ m}</math></li> <li>・鉄筋コンクリート三面張水路 <math>L= 24.4 \text{ m}</math></li> </ul>	
その他被災歴・改修歴・溜池依存の状況等特記事項	H11 洪水吐工等災害復旧		

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分	農業用ため池整備事業														計 (ha)	備考
	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)		小計 (ha)	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)			小計 (ha)		
事業目的 ため池が老朽化し危険であるため緊急に改修する	14.5	—	—	—	—	—	14.5								14.5	
計	14.5	—	—	—	—	—	14.5								14.5	

第 2 節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

該 当 な し

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田	輪換耕地	普通畑	牧草地	果樹園	桑園		小計	原野	山林	その他	計	備考
	区分	(ha)												
池農業 整備 用 事業 ため	現況	14.5							14.5				14.5	
	計画	14.5							14.5				14.5	
	現況													
	計画													
計	現況	14.5							14.5				14.5	
	計画	14.5							14.5				14.5	



5. 労働改善計画

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積(ha)	単位面積当たり労働投下量(hr/10a)				備考
				区分	現況	計画	増減	
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
	計							
				人力				
				機械力				
				人力				
				機械力				
	計							
合計								

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区分・級地名 土地利用区分		農用地造成(ha)					干拓(ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)											
	(牧草地)											
	樹園地											
	果樹園											
	(桑園)											
その他												
計												

7. 土地配分計画

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草地	樹園地			
増反		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	
入植		( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	

第3節 用水計画

1. 計画基準年

\_\_\_\_\_

2. 計画かんがい方式

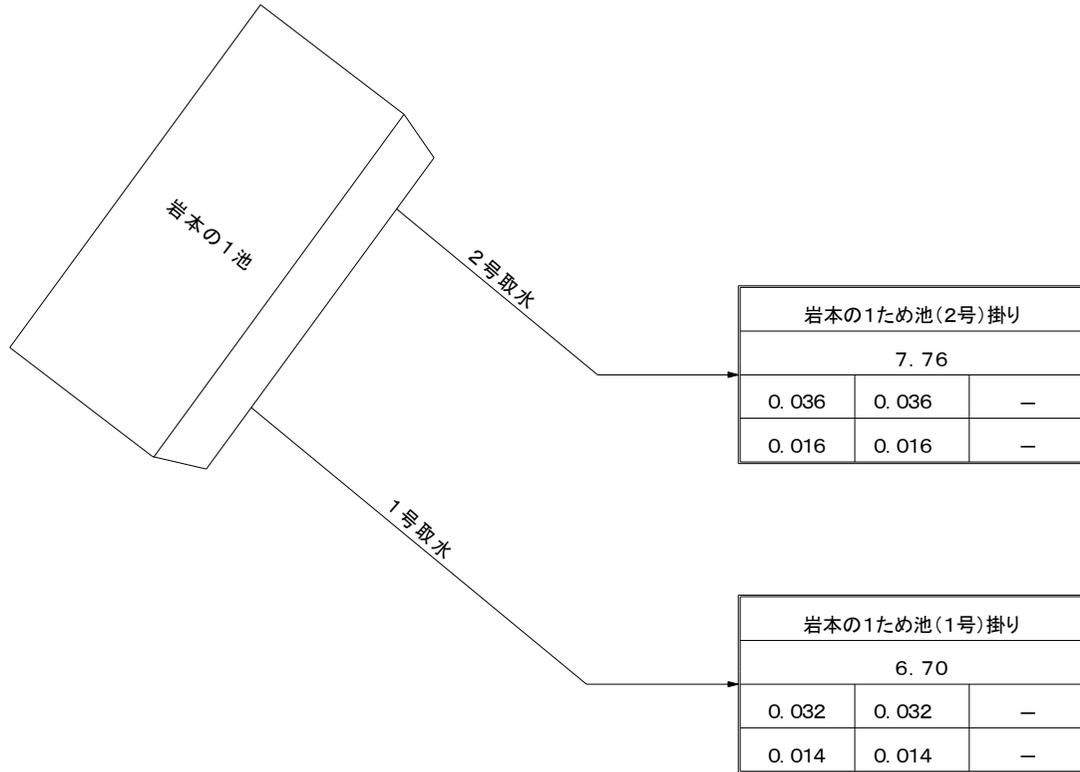
取水孔（1号φ200mm×2孔（取水ゲート）、2号φ200mm×3孔（取水ゲート））の開閉による自然流下かんがいを行う。

3. 計画用水系統

岩本の1池 → 受益地 14.5 ha 現況用水系統から変更なし

(別紙計画用水系統図参照)

計画用水系統図



凡 例	
記 号	名 称
	既 設 水 路
	頭 首 工
	貯 水 池
	地 区 外
	地 区 内
(イ)	路 線 名
(ロ)	灌 漑 面 積
(ハ)	代 掻 期 粗 用 水 量
(ニ)	代 掻 期 利 用 可 能 量
(ホ)	普 通 期 粗 用 水 量
(ヘ)	普 通 期 利 用 可 能 量
(ト)	不 足 水 量

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目	種別	面積(ha)	水田かんがい		水田畑利用		畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考			
			事業名	普通期	代かき期	面積 (ha)	計一日当たり平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	計一日当たり平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)			単位面 平均 水量 (mm/日)	面積 (ha)		平均 (m <sup>3</sup> /s)	最大 (m <sup>3</sup> /s)	
			農業 整備 事業 ため 池	単位面 平均 水量 (mm/日)	単位面 平均 水量 (mm)															
岩本の1池	ため池 (1号取水)		6.70	15	150	6.70								0.027	15	0.014	0.032			
		粗用水量																		
		・代かき期最大													代かき用水量 :	150 mm/日				
		Q=(0.150/7+0.015×6/7×6.70×10000/86400×1/0.85													代かき日数 :	7 日				
		・普通期													普通期減水深 :	15 mm/日				
		Q=0.015×6.70×10000/86400×1/0.85													かんがい効果 :	85 %				

4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目別	面積 (ha)	水田かんがい		水田畑利用		畑地かんがい			その他		消費水量 (m <sup>3</sup> /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考			
		事業名	普通期	代かき期	面積 (ha)	計一日当たり平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)	計一日当たり平均かん水深 (mm/日)	平均間断日数 (日)	面積 (ha)			単位面用平均量 (mm/日)	面積 (ha)		平均	最大	
		農作業用ため池	単位面用平均量 (mm/日)	単位面用代かき量 (mm)															
			粗用水量																
岩本の1池	ため池 (2号取水)	7.76	15	150	7.76								0.031	15	0.016	0.036			
		粗用水量																	
		・代かき期最大												代かき用水量 :	150 mm/日				
		Q=(0.150/7+0.015×6/7)×7.76×10000/86400×1/0.85												代かき日数 :	7 日				
		・普通期												普通期減水深 :	15 mm/日				
		Q=0.015×7.76×10000/86400×1/0.85												かんがい効果 :	85 %				

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区分	利用目的	対象面積 (ha)			日当給水量		補給回数 (回)	関係戸数 (戸)	備考
		事業名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

項目 区分	消費水量 a (千/m <sup>3</sup> )	有効雨量 b (千/m <sup>3</sup> )	純用水量 c=a-b (千/m <sup>3</sup> )	粗用水量 d=c/(1-a) (千/m <sup>3</sup> )	現況利用可能水量			不足量		水源依存量		水源工種	備考 損失率：α
					水源名	取水地点 利用 可能量	ほ場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水源名	水量		
						e (千/m <sup>3</sup> )	f (千/m <sup>3</sup> )	g=c-f (千/m <sup>3</sup> )	h=d-e (千/m <sup>3</sup> )		(千/m <sup>3</sup> )		
事業名													
計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

項目 貯水池名	流域面積 (km <sup>2</sup> )		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用貯水量 (千m <sup>3</sup> )	利用回数 (回)	最大取水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
			事業名		計					
	直接	間接	農業用ため 池整備事業							
岩本の1池	22.5	—	14.5		14.5	30.0	30.0	—	0.068	

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km <sup>2</sup> )	かんがい面積 (ha)		取水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水量	備考	
			事業名		計	最大			平均
計									

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m <sup>3</sup> /s)		揚水機				備考	
		事業名			計	最大	平均	実揚程 (m)	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	台数 (台)		全揚水量 (m <sup>3</sup> /s)

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 ( $m^3/s$ )	延長 (km)	構造	備考
	事業名		計				

(オ) その他の水源施設

該当なし

(3) 水温水質

該当なし

第 4 節 排水計画

1. 計画基準雨量

該 当 な し

2. 計画排水方式

該 当 な し

3. 計画排水系統

該 当 な し

4. 計画排水量

(第 1 1 表 - 1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積 (km <sup>2</sup> )		基準雨量 (mm)	降雨による直接単位流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		基底流出量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		全排水量 (m <sup>3</sup> /s)			単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/km <sup>2</sup> )		備 考
	事業名		計	山地	平地		山地	平地	山地	平地	山地	平地		山地	平地	
												自然排水	機械排水			

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計 画		排 水 本 川			備 考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	名 称	計画降水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)		計	計 画 排 水 量		排 水 機				備 考
		事業名			排水量 (m <sup>3</sup> /s)	地区内 たん水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	台 数 (台)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km <sup>2</sup> )	受益面積 (ha)			計画排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (m)	構造	排水本川			備考
		事業名		計				名称	計画洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	計画洪水位 (m)	

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第 5 節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第 1 2 表 - 1)

項 目 路 線 名	幅(有効) × 延長 (m) (km)	構 造	既 設 道 路 と の 関 係	備 考

(2) 索 道

(第 1 2 表 - 2)

項 目 路 線 名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考

2. 路線配置図

該 当 な し

第 6 節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考

(2) 末端道水路配置図

該当なし

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y <sub>1</sub> )	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha 当たり 所要量			備 考
			H <sub>2</sub> O	K C I			石 炭 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	

第 7 節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該 当 な し

2. 計画洪水量及び調節量

(第 1 4 表 - 1)

地 点	流域面積 (km <sup>2</sup> )	洪 水 到達時間 (ha)	計 画 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	安 全 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	必 要 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)	ピーク時 調 節 後 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	調 節 後 最 大 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	調 節 前 後 の 最 大 流 量 の 差 (m <sup>3</sup> /s)	最 大 調 節 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考

3. 貯水池

(第 1 4 表 - 2)

項 目 貯水地名	流 域 面 積 (km <sup>2</sup> )		計 画 洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	貯 水 量 (千 m <sup>3</sup> )			計 画 調 節 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	可 能 調 節 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
	直 接	間 接		有 効	洪水調節容 量	他 目 的			

#### 4. 洪水調節検討

##### (1) 河川改修計画との関係

該 当 な し

##### (2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該 当 な し

##### (3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該 当 な し

#### 5. 管理計画

##### (1) 管理機構

該 当 な し

##### (2) ダム管理操作上の各種基準

該 当 な し

##### (3) 洪水調節要領

該 当 な し

第 8 節 干拓計画

(第 15 表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向き及び 対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考

第 9 節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第 16 表-1)

長辺 × 短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
計					

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 ( $m^3$ )	備考

(3) 末端道水路配置図

該当なし

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

項目 区分	面積 (ha)		土壌統(区分)	基準雨量 (mm/day)	単位排水量 ( $l/s/ha$ )	計画後の 地下水位 (m)	集水渠出口 以下の 排水方法	備考
	事業名	計						
計								

(2) 心土破碎

(第16表-3-2)

項目 区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名		計			
計						

3. 客 土

(第16表-4)

項目 区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m <sup>3</sup> )	土 壤 の 性 質		備 考
	事 業 名		計		現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地 (%)	採土地 (客土材 料) (%)	
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考
計				

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m <sup>3</sup> /s/ha)	全排水量 (m <sup>3</sup> /s)	
計						

(3) 侵食(崩壊)防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
計				

第 10 節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

計 画 降 雨	観 測 機 関 名	下関地方气象台 (1946年～2022年)
	計 画 基 準 雨 量	200年確率時間雨量 87.9 mm/hr 既往最大雨量 77.4 mm/hr (1953年6月28日)
	計 画 根 拠	洪水到達時間内の平均降雨強度を比較し、200年確率雨量を計画基準雨量とする。 $\text{降雨強度} = \frac{814.2}{\sqrt{30.95+1.52}} = 114.95 \text{ mm/hr}$

(2) 計画洪水量

集 水 面 積	直 接	22.5 ha	合 計	22.5 ha
	間 接	- ha		
計 画 洪 水 量	計 算 式	$Q=1/3.6 \times f \times r \times A$		
	流 出 率	0.765 (直接流域)		
	計 画 洪 水 量	6.581 m <sup>3</sup> /s		
	貯留効果を考慮	4.616 m <sup>3</sup> /s		

2. 堤体補強計画

法面保護工

堤体上流法面は、波浪による浸食を防ぐため、波受工を施工する。

漏水防止工

漏水調査の結果、堤体下流で漏水が確認され、堤体本体からと推定されるため、前刃金土工法で遮水する。

3. 取水施設改修計画

取水施設は、斜樋構造とし、(1号取水) 塩ビ管φ300 取水孔φ200×2孔 (2号取水) 塩ビ管φ300 取水孔φ200×3孔にて改修する。

底樋は、本堤、副堤ともにプレキャスト底樋管φ800に改修し、土砂吐ゲートを設ける。

緊急放流工は、1号、2号の取水施設が兼ねる。

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

1. 貯水池

(第 17 表-1)

名 称				位 置						
	形 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )		堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )		備 考
直 接		間 接	總貯水量					有効貯水量		
堤 体										
洪 水 吐	形 式	洪 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考	取 水 施 設	形 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	放 流 施 設	形 式	放 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考

2. 頭首工

(第 17 表-2)

名 称				位 置					備 考
	型 式	堤 高 (m)	堤 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	付 帶 施 設		
固 定 部			可 動 部	計					

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		揚水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
		計								
計										

5. その他かんがい施設

該当なし

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

(第 18 表 - 1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	備考
計							

2. 排水機

(第 18 表 - 2)

項目 名称	位置	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ( )	台数 (台)	
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m <sup>3</sup> /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
		計								
計										

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 名称	路線名	幅(有効)(m) × 延長(km)	構造	付帯構造物			最急 こう配 (%)	同左の 延長 (m)	最小曲線 半径 (m)	備考
				名称	構造	構造 (箇所)				
計										

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名稱	規模 構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考

2. 索道

(第19表-3)

項目 名稱	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原動機		備考
				型式	動力 ( )	

第 4 節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第 20 表 - 1)

区 分 \ 項 目	樹 種	樹 径 (m)	ha 当 たり 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計						

(2) 除 礫

(第 20 表 - 2)

区 分 \ 項 目	対 象 土 層 の 厚 さ (m)	ha 当 たり 標 準 除 礫 量 (m <sup>3</sup> /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
計					



(5) 末端用水路等

(第20表-5)

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

(6) 末端排水路等

区分	項目	数量	規模	構造	備考
	計				

2. 土壌改良

(第20表-7)

区分	項目	面積 (ha)	石灰量 (t)	りん酸質資材量 (t)	有機質資材量 (t)	備考
	計					

第 5 節 洪水調節施設

1. 貯水池

該 当 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第 2 1 表 - 2)

名 称	集水面積 (km <sup>2</sup> )		位 置		備 考			
			堤 長 (m)					
			固 定 部	可 動 部				計
形 式	集水面積 (km <sup>2</sup> )	堤 高 (m)	固 定 部	可 動 部	計	計画洪水位 (m)	付帯施設備	備 考

(2) 導水路

(第 2 1 表 - 3)

項目 水路名	通水量 (m <sup>3</sup> /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	そ の 他	計			

第 6 節 干拓施設

1. 堤 防

(第 2 2 表- 1)

項目 水路名	形 式	延 長 (m)	構 造				現 地 盤 標 高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛 土 幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	

2. 潮止め

(第 2 2 表- 2)

項目 名 称	工 法	幅 員 (m)	敷 高 標 高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最 大 流 速 (m/s)	床固め構造	備 考

3. 付属施設

該 当 な し

4. 埋 立

(第 2 2 表- 3)

項目 区 分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m <sup>3</sup> )	施 工 方 法	備 考

第 7 節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

(第 2 3 表 - 1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		準 備 区 間	土 量 (m <sup>3</sup> )	面 積 (ha)	土 量 (m <sup>3</sup> )	

(2) 末端用水路等

(第 2 3 表 - 2)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

(3) 末端排水路等

(第 2 3 表 - 3)

区 分	項 目	数 量	規 模	構 造	備 考

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				急水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
計																	

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m <sup>3</sup> /ha)	面積 (ha)	工法	備考
計					

3. 客土

(第23表-5)

項目 区分	面積 (ha)			客土土量 ( $m^3$ )	土取場土量 ( $m^3$ )	運搬距離 (km)	運搬方法	備考
	事業名		計					
計								

4. 除礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 ( $m^3/ha$ )	面積 (ha)	工法	備考
計					

5. 農地保全

(1) 防風林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m <sup>3</sup> /s)	構造	備考
計				

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

項目 区分	構造	数量	備考
計			

第 8 節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第 2 4 表)

名 称	岩本の 1 池			位 置	福岡県築上郡築上町大字椎田地内					
	形 式	流域面積 (km <sup>2</sup> )			堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (千m <sup>3</sup> )	基礎地盤 地 質	貯 水 量 (千m <sup>3</sup> )	
直 接		間 接	総貯水量	有効貯水量						
堤 体	前刃金	0.225	—	5.00	125.7	8.2	砂質粘土	30.0	30.0	
	形 式	洪水量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考	取水施設	形 式	取 水 量 (m <sup>3</sup> /s)	放流施設	形 式	放 流 量 (m <sup>3</sup> /s)	備 考
洪 水 吐	側水路	4.62			斜樋塩ビ管 (1号) φ 300 (2号) φ 300	0.032 0.036		プレキャスト底樋管 (1号) φ 800 (2号) φ 800	0.758 0.758	仮排水流量 〃

2. 堤体補強施設

(1) 法面保護工

堤体上流法面は、波浪による浸食を防ぐため、風波高まで波受工を施工する。

(2) 漏水防止工

漏水調査の結果、堤体下流で漏水が確認され、堤体本体からと推定されるため、前刃金土工法を施す。

## 第 6 章 付帯工事計画

該 当 な し

## 第 7 章 工事の着手及び完了の予定時期

### 1. 工事の着手及び完了の予定

着 手            令 和 7 年 度  
完 了            令 和 11 年 度

### 2. 工 程 表

(単位：千円)

	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 11 年度	合 計
堤 体 工			⇔	⇔		93,700
法 面 保 護 工					⇔	31,300
取 水 施 設 工			⇔	⇔		104,000
洪 水 吐 工				⇔		44,000
仮 設 工		⇔			⇔	33,000
測 量 及 び 試 験 費	⇔					21,000
用 地 及 び 補 償 費		⇔	⇔	⇔	⇔	2,000
工 事 雑 費	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	6,000
事 務 費	⇔	⇔	⇔	⇔	⇔	16,000
事 業 費	22,400	28,900	106,600	152,500	40,600	351,000
同 上 百 分 率	6.4 %	8.2 %	30.4 %	43.4 %	11.6 %	100 %

## 第 8 章 環境との調和への配慮

### 第 1 節 配慮の対象

- 1 動物  
該当なし
- 2 植物  
該当なし
- 3 その他  
該当なし

### 第 2 節 配慮の考え方

- ・工事実施前及び工事実施中に希少動植物を発見した場合は、近傍の生息可能域へ 移動させる。(軽減)
- ・工事実施期間は、ため池内の滞筋などを活用して、魚等の生息場所を確保する。(軽減)
- ・工事に伴う汚濁水等の発生を抑えるとともに、土砂等が農業用水路に流出しないように努める。(軽減)
- ・工事実施後は、可能な限り速やかに、ため池の水位回復に努める。(軽減)

## 第 9 章 換地計画の概要

### 第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

該 当 な し

### 第 2 節 換地区の設定

#### 1. 換地区の名称, 住所, 面積

(第 2 5 表 - 1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)

#### 2. 換地区を設定する理由

該 当 な し

### 第 3 節 換地計画樹立の基本方針

#### 1. 従前の土地の面積の基準

(第 2 5 表 - 2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準



3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別, グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	1戸当たり目標団地数	区画畦畔の取扱い

4. 非農用地の換地方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区の位置の概略	面積 (m <sup>2</sup> )	換地の手法	換地取得予定者	その他

第 4 節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

該 当 な し

2. 清算の方法

該 当 な し

第 5 節 換地計画樹立の年度計画

(第 2 5 表 - 6)

区 分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備 考

第 6 節 換地処分の時期に関する特則

該 当 な し

第 10 章 事業費の総額及び内訳

1. 総括表

事 項	事業費	事業内容	備考																						
	百万円																								
工 事 費	306.0	堤体工、洪水吐工、取水施設工、仮設工	負担割合 (単位 %) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2">国</th> <th rowspan="2">県</th> <th colspan="2">地 元</th> </tr> <tr> <th>市町村</th> <th>農家</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業費</td> <td>55</td> <td>30</td> <td>13.65</td> <td>1.35</td> </tr> <tr> <td>工事雑費</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td>0</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		国	県	地 元		市町村	農家	事業費	55	30	13.65	1.35	工事雑費	0	100	0	0	事務費	0	100	0	0
	国	県					地 元																		
				市町村	農家																				
事業費	55	30		13.65	1.35																				
工事雑費	0	100		0	0																				
事務費	0	100		0	0																				
測 量 及 び 試 験 費	21.0	測量、地質調査、実施設計																							
用 地 及 び 補 償 費	2.0	借地																							
工 事 雑 費	6.0																								
計 (事業費)	335.0																								
地 方 事 務 費	16.0	事業費×5.0%以内																							
合 計	351.0																								

第11章 効 用

1. 総括

(1) 総費用総便益比及び所得償還率の総括

(第11表-1)

区分	算定式	数値	備考
総費用（現在価値化）	③=①+②	268,721 千円	
当該事業による費用	①	278,866 千円	
その他費用（関連事業+資産科価額+再整備費）	②	△ 10,145 千円	
年償還額	④	399 千円/年	
うち機能向上分	④'	— 千円/年	
年総効果（便益額）	⑤	33,254 千円/年	
現況年農業所得額	⑥	3,825 千円/年	
年増加農業所得額	⑦	93 千円/年	
評価期間（当該事業の工事期間+40年）		45 年	
割引率		0.04	
総便益額（現在価値化）	⑧	688,681 千円	
総費用総便益比	⑨=⑧÷③	2.56	≥ 1.0
総所得償還率	⑩=④÷⑥×100	10.4	≤ 20%
増加所得償還率	⑪=④'÷⑦×100	— %	

## (2) 総費用の総括

(単位：千円) (第11表-2)

区分	施設名 (又は工種)	①事業着工時点 の資産価額	②当該事業費	③関連事業費	④評価期間における 再整備費	⑤評価期間終了時点の資 産価額	総費用⑥=①+②+③+ ④-⑤
岩 本 の 1 池	堤体工	0	127,375	0	0	10,145	117,230
	取水施設工	0	106,900	0	18,736	18,736	106,900
	洪水吐工	0	44,591	0	7,926	7,926	44,591
	計	0	278,866	0	26,662	36,807	268,721

## (3) 年総効果額及び年増加所得額及び現況年総農業所得額

(単位：千円) (第11表-3)

効果項目	区分	年総効果(便益)額	年増加農業所得額		現況年総農業所得額	備考
				うち機能向上分		
作物生産効果					3,825	
災害防止効果		33,234				
維持管理費節減効果		20	93	93		
合計		33,254	93	93	3,825	

第 12 章 関連する事業

(第 28 表)

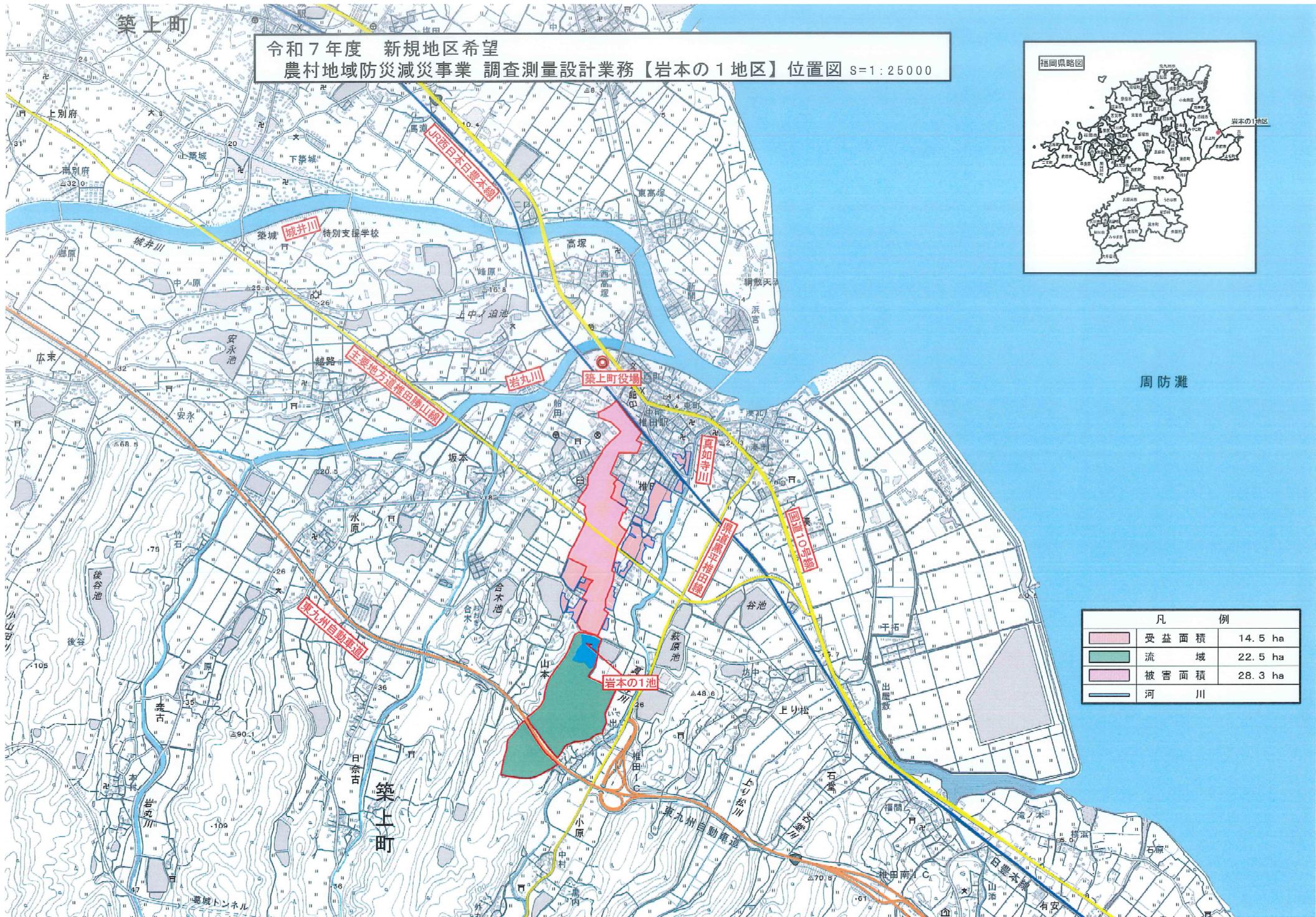
区 分	事 業 名	事 業 主 体	受 益 面 積 (ha)	事 業 内 容

第 13 章 現況・計画図面

- 1. 位置図
- 2. 計画概要図

} 別紙のとおり

令和7年度 新規地区希望  
農村地域防災減災事業 調査測量設計業務【岩本の1地区】位置図 S=1:25000



周防灘

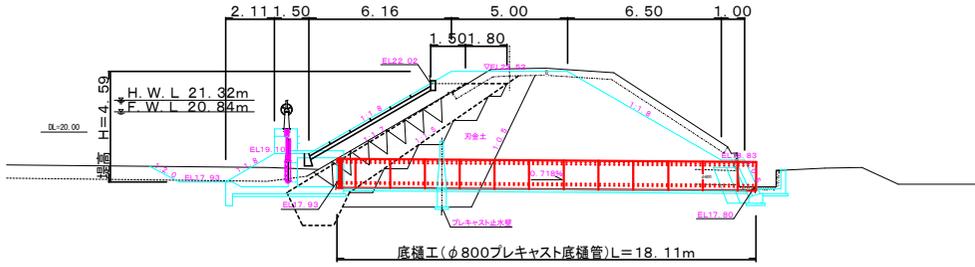
凡 例		
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #f8d7da;"></span>	受益面積	14.5 ha
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #d4edda;"></span>	流域	22.5 ha
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color: #d1ecf1;"></span>	被害面積	28.3 ha
<span style="display:inline-block; width:15px; border-bottom: 1px solid black;"></span>	河 川	



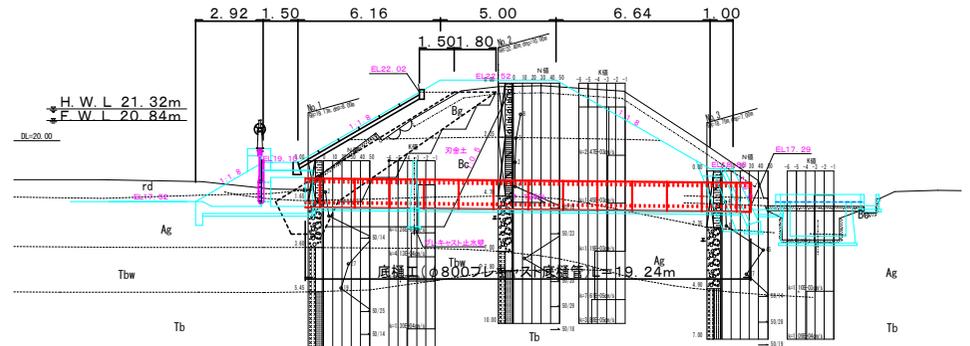


# 地区概要図(3)

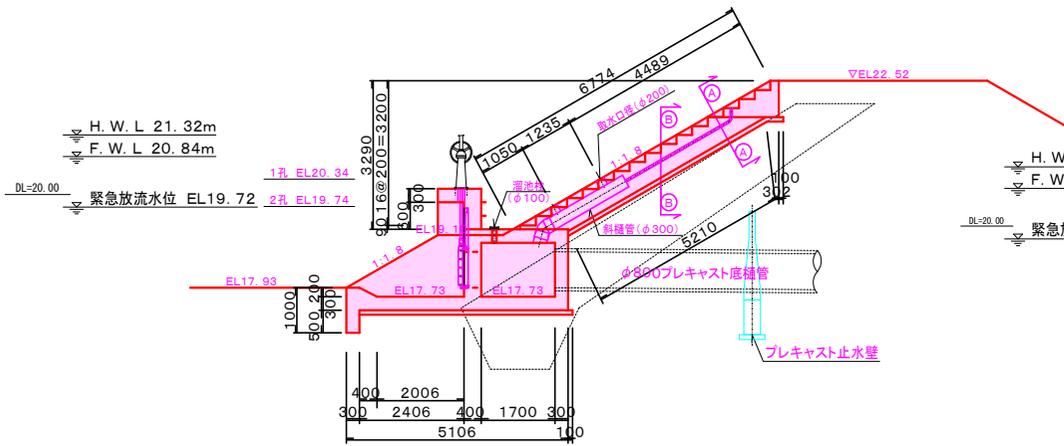
## 1号底樋工



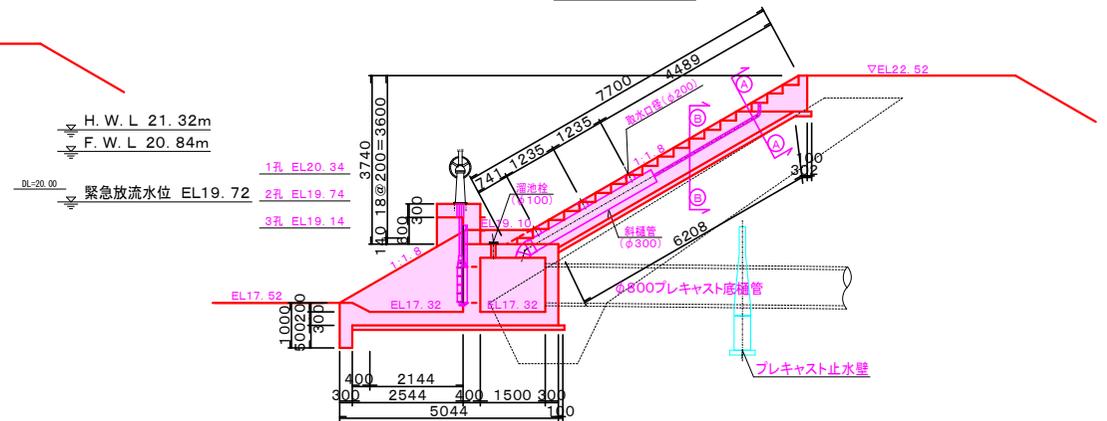
## 2号底樋工



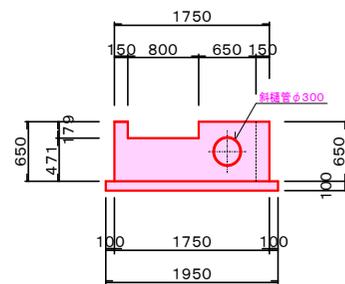
## 1号取水施設 縦断面図



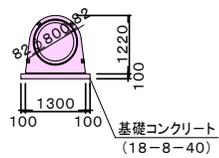
## 2号取水施設 縦断面図



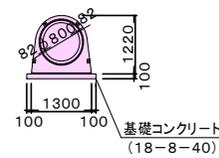
## 斜樋工断面図



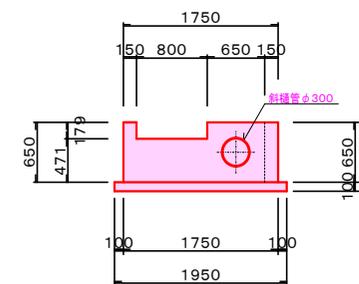
## 底樋工断面図



## 底樋工断面図



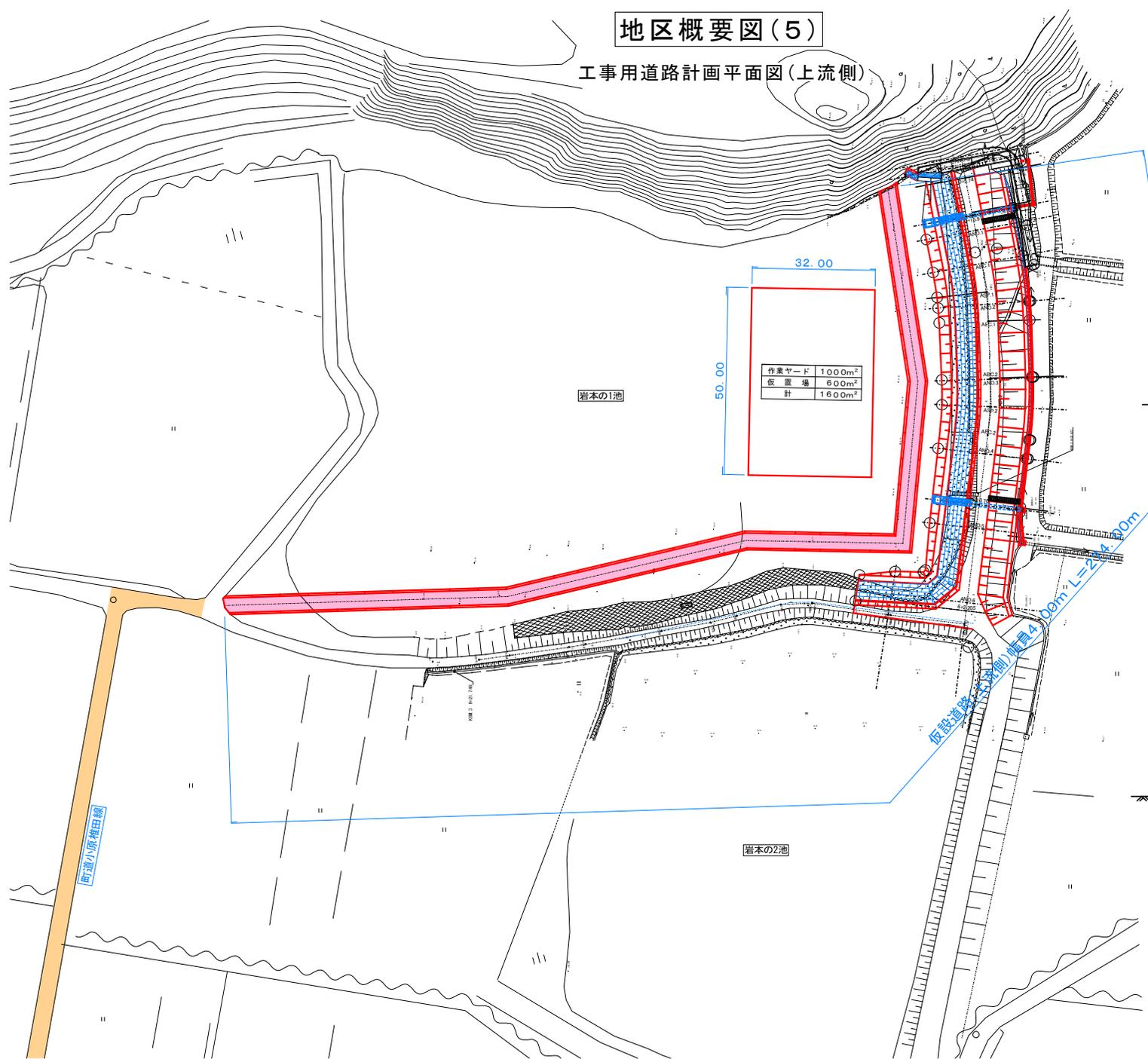
## 斜樋工断面図



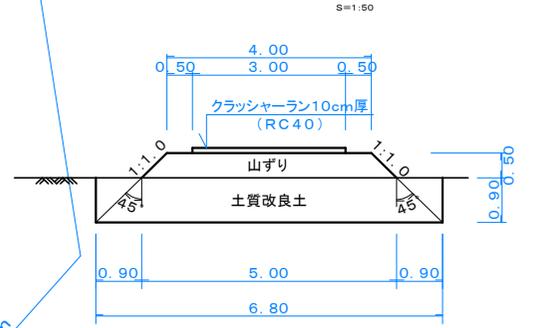


# 地区概要図(5)

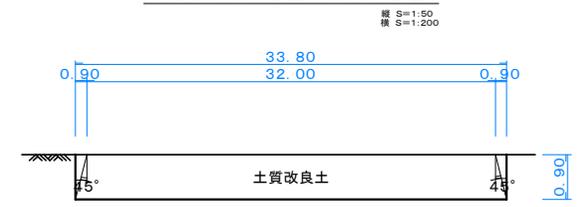
## 工事用道路計画平面図(上流側)



仮設道路標準断面図



作業ヤード・仮置場標準断面図



# 地区概要図(6)

工事用道路計画平面図(下流側)

